

2026年 8 月10日

各 位

会 社 名 ソニーフィナンシャルグループ株式会社
代 表 者 名 代表執行役 社長 CEO 遠藤 俊英
(コード番号 8729 東証 プライム 市場)
問 い 合 わ せ 先 執行役員 財務部担当 佐井 拓実
(TEL：03-5290-6500(代表))

2027年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年 5 月14日に公表した2027年 3 月期(2026年 4 月 1 日～2027年 3 月31日)における当社グループの連結業績予想について、以下のとおり修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

1. 修正内容

(単位：百万円)

	営 業 収 益	営 業 利 益	税 引 前 利 益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	修 正 純 利 益 (注)
前回発表予想(A)	1,050,000	△18,000	△20,000	△16,000	110,000
今回修正予想(B)	1,070,000	29,000	37,000	23,000	110,000
増 減 額 (B－A)	20,000	47,000	57,000	39,000	－
増 減 率 (%)	1.9	－	－	－	－
(参考)前期実績 (2026年 3 月期)	1,017,555	△9,148	△11,450	△8,690	107,443

(注) 上記の修正純利益は、IFRS会計基準に準拠して作成した、当社グループの当期純利益から以下の調整項目を控除した数値となります。修正純利益は一時的な損益の影響を含まないことから、事業の持続的な収益力を表すとともに、当社グループ全体の投資とそのリターンの循環による中長期での事業拡大をマネジメントの観点から確認することができると考えています。

修正純利益の数値は、IFRS会計基準に則った開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

なお、2027年 3 月期第 1 四半期において、修正純利益の定義を変更したため、前期実績(2026年 3 月期)は、変更後の定義を適用した遡及修正後の金額を記載しております。

(ソニー生命)

- ① 投資損益のうち変額保険関連損益※1・為替差額(除くヘッジコスト相当分等※2)
- ② 保険金融損益のうち変額保険関連損益※3・為替差額
- ③ ALMに係るヘッジ取引の評価差損益(除くヘッジコスト相当分等※2)
- ④ 有価証券の売却損益
- ⑤ その他一過性の損益

(当社、ソニー損害保険株式会社、ソニー銀行株式会社、その他子会社)

- ① 一過性の損益

- (※1) 変額保険・変額個人年金保険見合いで有する、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じるものの。
- (※2) ヘッジポジションを保持するために必要な取引手数料・マージンコスト。純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定(FV0指定)した債券から生じる当期の経過利息(期首金利に基づく)を含む。
- (※3) 変額保険・変額個人年金保険に係る基礎となる項目の変動並びに金利及びその他金融リスクの変動による影響。

2. 修正理由

営業利益については、ソニー生命において、ALM(資産負債の総合管理)の考え方に基づくリバランスを目的とした債券売却を引き続き推進する中で、資産ポートフォリオの状況を踏まえて売却対象資産を見直した結果、有価証券売却損が当初想定を下回る見込みとなったことなどから、前回予想を上回る見通しとなりました。

税引前利益については、上記に加え、SP. LINKS株式会社(旧ソニーペイメントサービス株式会社)に関連する持分法投資の譲渡益を織り込んだことから、前回予想を上回る見通しとなりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益についても、上記の税引前利益の増加に伴い、前回予想を上回る見通しとなりました。

なお、有価証券売却損益及びSP. LINKS株式会社(旧ソニーペイメントサービス株式会社)に関連する持分法投資の譲渡益は、修正純利益の調整項目に含まれることから、修正純利益予想に変更はありません。

(注) 上記の各数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上